
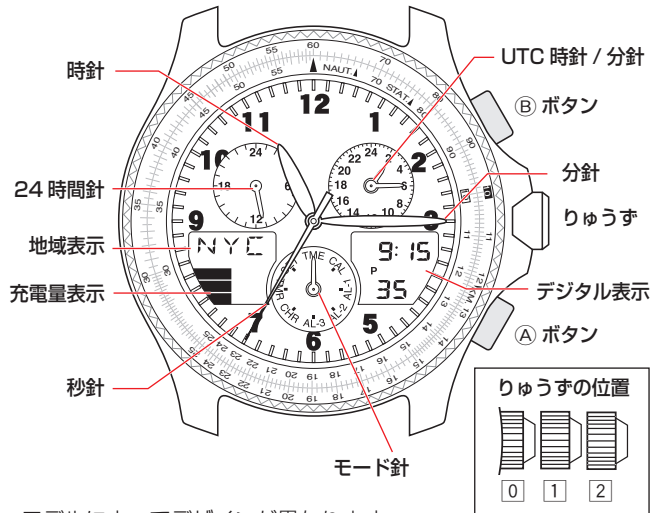


C650/C651/C652 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  C650/C651/C652 取扱説明書

各部の名称







- モデルによってデザインが異なります。
- スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) も併せてご覧ください。

充電量を確認する

充電量表示が、現在の充電量を表示します。

- 表示例：C650/C651

レベル	3	2	1	0
表示				
充電残量	十分に充電されている	安心して使える	そろそろなくなる	ほとんどない

すぐに充電が必要です。

時刻合わせ告知機能 (C650のみ)

時計が充電不足で停止したあと再び充電を行っていくと、針とデジタル表示によって時刻合わせが必要であることをお知らせします。

- モード針以外のすべての針：基準位置に移動します。
- 地域表示 / デジタル表示：点滅します。

時刻とカレンダーを合わせます。

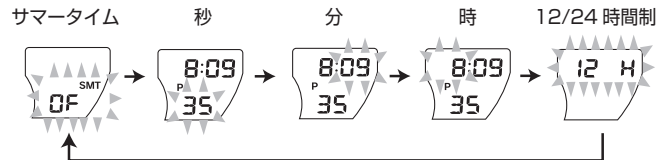
デジタル表示の時刻を合わせる

アナログ表示の時刻については、「アナログの時刻とデジタルの時刻を入れ替える」を参照ください。

- りゅうずの位置を **0** にする
- りゅうずを回して、モード針が「TME」を指すようにする
- ① ボタンまたは ② ボタンをくり返し押して、地域表示に「TYO」(日本時間)を表示させる
 - 「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせます。
- りゅうずの位置を **2** にする
 - 秒針が 0 秒を指し、サマータイムの設定が点滅します。

5. ② ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

- ② ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



- 「UTC」を選んだときはサマータイムの設定は表示されません。

6. 選んだ対象を合わせる

- 「秒」を選んでいるとき：時報に合わせて ① ボタンを押します。
- 「分 / 時」を選んでいるとき：りゅうずを回します。りゅうずを素早く回転させると、連続して変わります。りゅうずを少し回すと止まります。
- 「12/24 時間制」を選んでいるとき：① ボタンを押すごとに「12 H」と「24 H」が切り替わります。12 時間制表示では、「A」(午前)または「P」(午後)が表示されます。

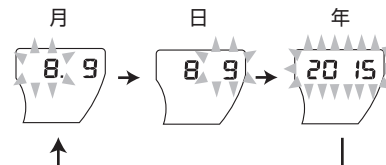
7. 手順 5、6 をくり返し、他の対象を合わせる

8. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2099 年 12 月 31 日まで、修正不要です。(バーベチュアルカレンダー)

- りゅうずの位置を **0** にする
- りゅうずを回して、モード針が「CAL」を指すようにする
- ① ボタンまたは ② ボタンをくり返し押して、地域表示に「TYO」(日本時間)を表示させる
 - 「TYO」以外を選んだときは、現地のカレンダーに合わせます。
- りゅうずの位置を **2** にする
 - デジタル表示で、「月」が点滅します。
- ② ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
 - ② ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



6. りゅうずを回して合わせる

- りゅうずを素早く回転させると、連続して変わります。りゅうずを少し回すと止まります。

7. 手順 5、6 をくり返し、他の対象を合わせる

8. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

- 曜は自動で設定されます。

ワールドタイムを使う

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする
 - ・「CAL」を選んだときは、カレンダーが表示されます。
3. **A** ボタンまたは **B** ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ

地域表示とデジタル表示に、選んだ地域とその時刻またはカレンダーが表示されます。

地域一覧

略称	代表地域	時差	略称	代表地域	時差
UTC	協定世界時	0	TYO	東京	+9
LON	ロンドン		SYD	シドニー	+10
PAR	パリ		NOU	ヌーメア	+11
ROM	ローマ	+1	AKL	オークランド	+12
CAI	カイロ		HNL	ホノルル	-10
IST	イスタンブール	+2	ANC	アンカレジ	-9
MOW	モスクワ		LAX	ロサンゼルス	-8
KWI	クウェート	+3	DEN	デンバー	-7
DXB	ドバイ		CHI	シカゴ	-6
KHI	カラチ	MEX	メキシコシティ		
DAC	ダッカ	+6	NYC	ニューヨーク	-5
BKK	バンコク		YUL	モントリオール	
SIN	シンガポール	+8	CCS	カラカス	-4
HKG	香港		RIO	リオデジャネイロ	-3
PEK	北京		BUE	ブエノスアイレス	

- ・一覧表の時差は、UTC（協定世界時）からの時差です。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

サマータイムを表示させる

ワールドタイムの地域ごとにサマータイムを表示させることができます。

- ・地域として「UTC」を選ぶと、サマータイムを表示させることはできません。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「TME」を指すようにする
3. **A** ボタンまたは **B** ボタンをくり返し押して、サマータイムを表示させたい地域を選ぶ
4. りゅうずの位置を **2** にする

秒針が 0 秒を指し、サマータイムの設定が点滅します。
5. **A** ボタンを押す
 - ・ **A** ボタンを押すごとに、サマータイムの ON/OFF (OFF) が切り替わります。
6. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

アナログの時刻とデジタルの時刻を入れ替える

この時計のアナログ表示の時刻（時針 / 分針 / 24 時間針）は、直接時計を合わせることはできません。
表示したい地域の時刻を一度デジタル表示に表示させ、デジタル表示の時刻をアナログ表示の時刻と入れ替えて表示させます。
・秒針は、デジタル表示の秒と常に一致します。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする
 - ・「CAL」を選んだときは、カレンダーが表示されます。
3. **A** ボタンまたは **B** ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ

地域表示とデジタル表示に、選んだ地域とその時刻またはカレンダーが表示されます。
4. **A** ボタンと **B** ボタンを同時に押す

デジタル表示の時刻とアナログ表示の時刻（時針 / 分針 / 24 時間針）が入れ替わります。



ワールドタイムにお好みの地域を加える

ワールドタイムに、新しい地域と時差を一つ加えることができます。

- ・新しい地域の時差（UTC 基準）をあらかじめ調べておきます。
- ・時差は 1 時間単位で設定できます。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「SET」を指すようにする
3. りゅうずの位置を **2** にする

地域表示とデジタル表示に、設定した地域の名前と時差が表示されます。
・未設定のときは「- - -」が表示されます。


4. **B** ボタンをくり返し押して、変更する位置を選ぶ
 - ・点滅している場所が、変更できる位置です。
5. りゅうずを回して変更する
 - ・新しい地域の名前は英数字を使って設定します。以下の文字と記号が使えます。
アルファベット：A から Z
数字：0 から 9
記号：「-」（ハイフン）と「」（空白）
 - ・時差は「- 11」～「12」から設定します。
 - ・りゅうずを素早く回転させると、連続して変わります。りゅうずを少し回すと止まります。
6. 手順 4、5 をくり返し、地域の名前とその時差を設定する
7. りゅうずの位置を **0** にする
8. りゅうずを回し、モード針が「TME」を指すようにする
9. **A** ボタンまたは **B** ボタンをくり返し押して、加えた地域を選ぶ

加えた地域を削除したいときは

地域の名前を「- - -」に設定します。

表示する地域を設定する

時刻、カレンダー、アラームなどで地域を選ぶときに、地域をスキップさせることができます。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「SET」を指すようにする
3. りゅうずの位置を **1** にする
デジタル表示が点滅します。
4. りゅうずを回して、地域を選ぶ
5. **Ⓑ** ボタンを押して、設定する
・**Ⓑ** ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。



- ・このとき、**Ⓐ** ボタンを押すごとに、サマータイムの設定が切り替わります。

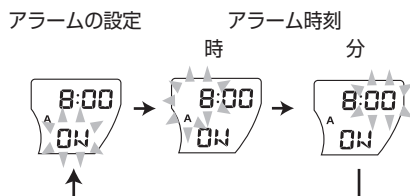
6. 手順 4、5 をくり返し、他の地域を設定する
7. りゅうずの位置を **0** にする
8. りゅうずを回し、モード針が「TME」を指すようにして、終了する

アラームを使う

地域の時刻に合わせて、アラーム音が約 15 秒間鳴ります。

- ・アラームは「AL-1」、「AL-2」、「AL-3」にそれぞれ設定することができます。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「AL-1」、「AL-2」または「AL-3」を指すようにする
現在設定されている地域、アラーム時刻、アラームの設定が表示されます。
3. **Ⓐ** ボタンまたは **Ⓑ** ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ
4. りゅうずの位置を **2** にする
アラームの設定がオンになり、点滅します。
5. **Ⓑ** ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
・**Ⓑ** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



6. 選んだ対象を設定する
・「アラームの設定」を選んでいるとき：**Ⓐ** ボタンを押すごとに「ON」と「OFF」(OFF) が切り替わります。
・「アラーム時刻」の「時/分」を選んでいるとき：りゅうずを回します。りゅうずを素早く回転させると、連続して変わります。りゅうずを少し回すと止まります。
7. 手順 5、6 をくり返し、他の対象を合わせる
8. りゅうずの位置を **0** にする
9. りゅうずを回し、モード針が「TME」を指すようにして、終了する

アラーム音をとめる

いずれかのボタンを押します。

アラームの設定を切り替える

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「AL-1」、「AL-2」または「AL-3」を指すようにする
3. りゅうずの位置を **1** にする
4. **Ⓐ** ボタンを押す
・**Ⓐ** ボタンを押すごとにアラームの設定が切り替わります。
5. りゅうずの位置を **0** にする
6. りゅうずを回し、モード針が「TME」を指すようにして、終了する

アラーム音を確認する

モードが「AL-1」、「AL-2」または「AL-3」のときに、**Ⓐ** ボタンと **Ⓑ** ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

クロノグラフを使う

1/100 秒単位、最大 24 時間まで計測できます。

- ・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
クロノグラフが表示されます。
3. クロノグラフを使う

スタート/ストップ：**Ⓑ** ボタンを押します。

- ・計測中に **Ⓐ** ボタンを押すと、経過時間（スプリットタイム）が 10 秒間表示され、デジタル表示で「SPL」が点滅します。

リセット：ストップ中に、**Ⓐ** ボタンを押します。

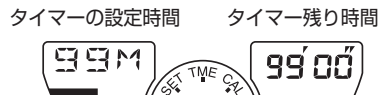
クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」または「CAL」にします。

タイマーを使う

- 1 分単位、最大 99 分のタイマーを設定することができます。
- 他のモードに切り替えてもカウントダウンは継続されます。

タイマーの時間を設定する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「TMR」を指すようにする
タイマーが表示されます。



3. りゅうずの位置を **2** にする
タイマーがリセットされ、タイマーの設定時間が点滅します。
4. りゅうずを回して、タイマーの時間を設定する
• りゅうずを素早く回転させると、連続して変わります。
りゅうずを少し回すと止まります。
5. りゅうずの位置を **0** にする

タイマーを使う

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「TMR」を指すようにする
タイマーが表示されます。

スタート/ストップ：Ⓑ ボタンを押します。
• カウントダウン中に Ⓐ ボタンを押すと、設定時間から改めてカウントダウンを始めます。

リセット：ストップ中に、Ⓐ ボタンを押します。

- タイマー終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」または「CAL」にします。

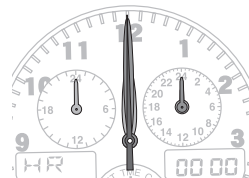
設定時間が過ぎると

タイムアップ音が約 5 秒間鳴ります。
音をとめるには、いずれかのボタンを押します。

針の基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
3. りゅうずの位置を **2** にする
地域表示に「HR」と表示され、モード針以外の各針が、現在の基準位置に移動します。

正しい基準位置：
各針が 12 時の位置
• 現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「針の基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
4. りゅうずの位置を **0** にする
5. りゅうずを回し、モード針が「TME」を指すようにして、終了する



針の基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
3. りゅうずの位置を **2** にする
4. Ⓑ ボタンをくり返し押して、修正する対象を選ぶ
• Ⓑ ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、地域表示に表示されます。
「HR」（時針 / 24 時間針）→ 「MIN」（分針 / UTC 時針 / UTC 分針）→ 「SEC」（秒針）→ （始めに戻る）
5. りゅうずを回して、修正する
• りゅうずを素早く回転させると、連続して回ります。りゅうずを少し回すと止まります。
• 秒針をのぞいて、針はどちらにも回せませんが、最後は必ず時計回りに回して位置を合わせます。
6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を修正する
7. りゅうずの位置を **0** にする
8. りゅうずを回し、モード針が「TME」を指すようにして、終了する

オールリセットを行う

- オールリセットを行う前に、充電量表示のレベルが 3 または 2 であることを確認してください。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
3. りゅうずの位置を **2** にする
地域表示に「HR」と表示され、モード針以外の各針が、現在の基準位置に移動します。
• すべての針の動きが止まったのを確認してから、次の手順に進みます。
4. Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押す
• ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。
5. りゅうずを押し込んで、終了する
確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置、時刻、カレンダーを合わせ直してください。アラームの設定も行ってください。